

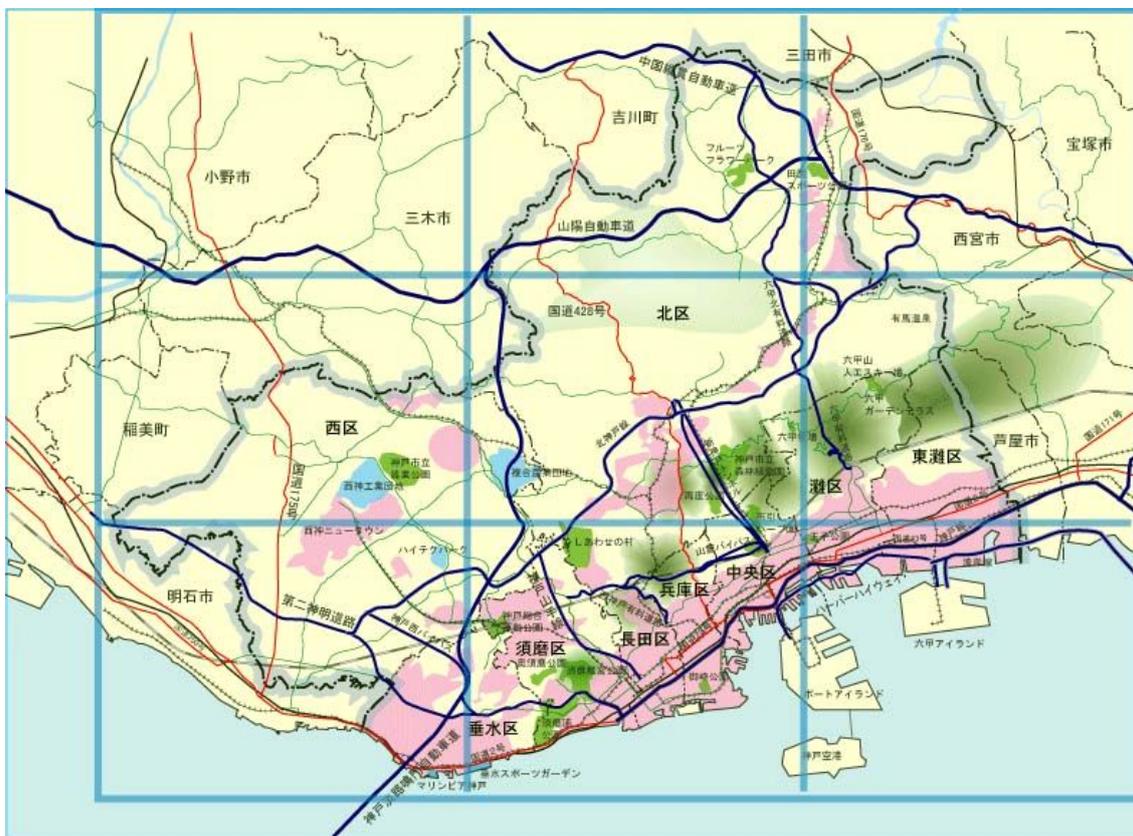
事例番号 102 神戸の新下町ハイカラ文化を発信するまちづくり事業 (兵庫県神戸市・新長田地区)

1. 背景

長田区は神戸市の中央部よりやや西に位置し、瀬戸内海、高取山、新湊川、苅藻川で南北東西を囲まれた細長い区域を持つ。その歴史は古く、条理制の痕跡が今でも残っている。明治から大正期にかけて現在の市街地の基礎となる開発が行われた。戦後は住宅開発が進み、庶民的住宅のまち、中小企業のまちとして利便性の高い下町情緒のあふれるまちとなった。地域に根ざした商店街や小売市場が軒を連ね、住居と職場とが一体となった下町のコミュニティが形成されてきた。長田区は、産業面からは兵庫区とともに神戸西部地域における重厚長大産業の中心地となったが、また、マッチ、ゴム、ケミカルシューズなどの地場産業が活況を呈し、神戸経済を支えてきた。

1995(平成7)年1月17日に発生した阪神・淡路大震災は、長田区をはじめ既成市街地に大きな被害をもたらした。とりわけ長田区内では921名の命が失われ、家屋の全半焼が4,772棟・約30ha(市内の全半焼の約6割)に、全半壊が23,803棟(市内の全半壊の約2割)にのぼるなど壊滅的な打撃を受けた。

このような悲惨な状況であったにもかかわらず、長田区は長年培われてきたコミュニティや人々の人情味ある豊かなふれあい、内外からの数多くのボランティアの活動、自らの手によるまちづくりへの意欲などの力で震災を乗り越え、今も市民主体のまちづくりに取り組んでいる。



長田区の位置 (資料: 神戸市ホームページ)

2. 目標

下町情緒、庶民の食、活発なコミュニティ活動による安心安全・暮らしやすさなど、地域の魅力を活かしたまちの再生が目標となっている。

3. 取り組みの体制

地域に根ざした事業会社である「新長田まちづくり株式会社」や、2001(平成13)年に発足した「神戸ながた TMO」など、さまざまな主体が、地域の魅力を活かした事業領域(施設総合管理、不動産管理、下町の食の商品開発等)で連携を図りながらまちの活性化に取り組んでいる。



新長田まちづくり株式会社が管理する建物 (資料: 新長田まちづくり株式会社ホームページ)

4. 具体策

(1) 「新長田まちづくり株式会社」の事業

「新長田まちづくり株式会社」は次の理念、目標を掲げている。

1995年1月17日の阪神・淡路大震災により、壊滅的な被害を被った新長田駅南部地区において街の活気と賑わいを取り戻し、潤いのあるコミュニティ豊かな街として再生するために、20haにもおよぶ再開発ビル群をひとつの街としてとらえ、街全体の効率的な管理運営、地元・周辺地域との一体的な事業展開を基本理念として新長田駅南部地区活性化のリーディングカンパニーを目指す。

同社の業務の中心は、新長田駅南地区震災復興第二種市街地再開発事業により建設された新長田駅南地区再開発ビルの施設総合管理業務、商業床をメインとしたデベロップメント業務であるが、再開発ビルを核とするそれらの事業を通じて、周辺地域の活性化につながるさまざまな領域での事業展開やまちづくり活動支援なども行っている。

新長田まちづくり株式会社の事業内容（同社ホームページより）

- 販売促進事業など各種イベントの企画立案
- 営業管理及びテナントの誘致、コンサルティング
- インターネット等を利用した地域情報化の推進、POS・カードシステム導入等による近代商業化、活性化への対応
- まち全体の管理運営のプランニング
- まち全体の施設総合管理・駐車場の管理運営・営繕、リフォーム、各種システムの維持管理
- 不動産の賃貸、仲介、保有並びに運用・損害保険代理店業務の取扱い・生命保険代理店業務の取扱い・税務、法律等の相談窓口



ワークショップ形式によるまちづくり会議（写真提供：神戸市）

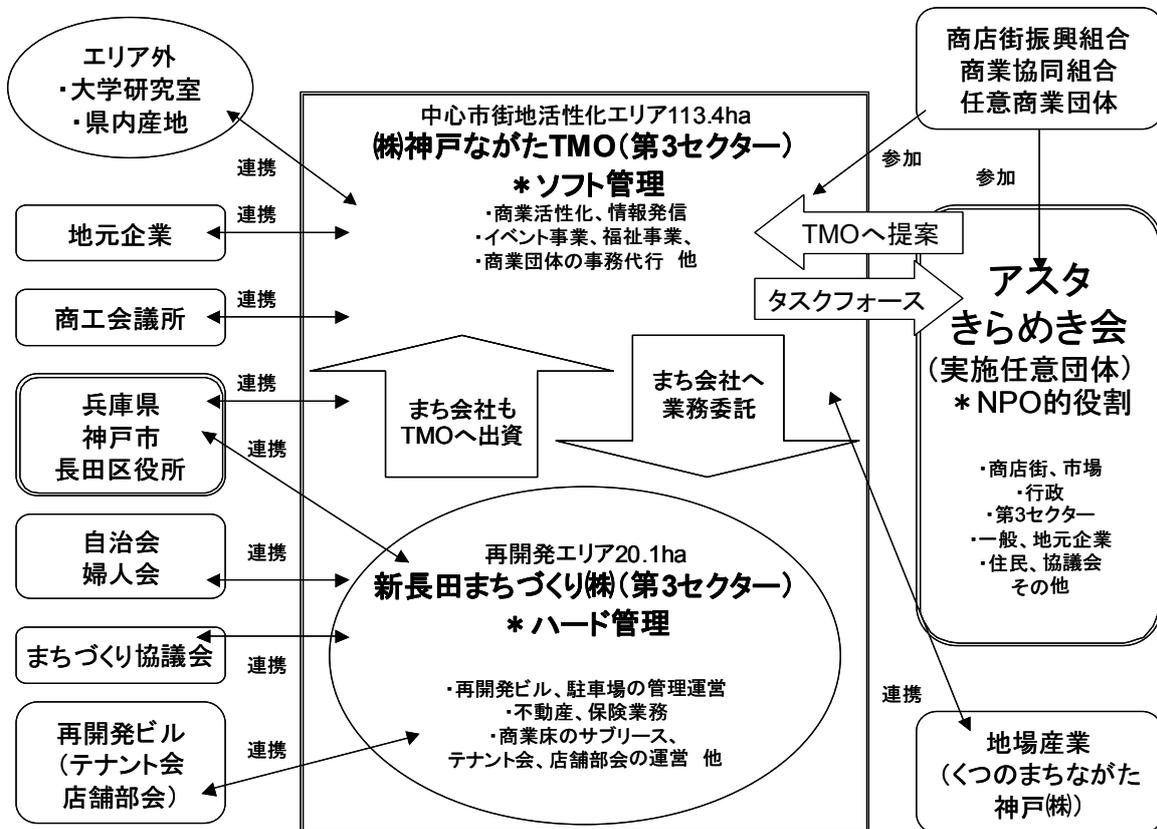
(2) 下町の「食のまちづくり」

2001(平成13)年に発足した「神戸ながたTMO」は、震災前の下町のよさを残していた新長田の特色を活かした事業を展開しているが、その大きなきっかけとなったのが、地域の名物であった庶民的な食べ物「ぼっかけ(牛筋とこんにゃくの煮込み料理)」の商品化だった。地域の商店街、住民と食品事業会社とで開発した「ぼっかけカレー」が大ヒット商品となり、地域の名物として定着した。現在は、地域に約70店あるお好み焼き屋を中心にした「食のまちづくり」を推進している。市内の他の商店街とも連携した集客イベントを仕掛けるなど、試行錯誤を重ねてきている。



下町の味「長田ソース」や「ぼっかけ」から派生したヒット商品群 (写真提供:新長田まちづくり(株))

「長田TMO」を中心とする連携フロー(資料:新長田まちづくり株式会社)



5. 特徴的手法

住民や地域企業が一丸となって地域の再生のために連携しながら事業活動を行っている点が特徴的である。

6. 課題

震災から 10 年を経過し、協働で復興に取り組んできた地域住民の高齢化が目立ってきている。また、それとともに、連携する各主体において後継者不在の問題が生じてきている。

(参考・引用文献)

新長田まちづくり株式会社ホームページ

神戸ながた TMO ホームページ